

<中学校 英語 解説>

設問1 (1)

1 解説

趣旨

文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

読むこと

内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項

イ 符号

ウ 語、連語及び慣用表現

エ 文、文構造及び文法事項

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解答類型	正答
1 (1)	1と解答しているもの	
	2と解答しているもの	
	3と解答しているもの	
	4と解答しているもの	◎
	上記以外の解答	
	無解答	

設問1 (2)

1 解説

趣旨

日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

読むこと

イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

## 解答類型

問題番号	解答類型	正答
1 (2)	1と解答しているもの	
	2と解答しているもの	
	3と解答しているもの	◎
	4と解答しているもの	
	上記以外の解答	
	無解答	

## 2 学習指導に当たって [対応設問：(1)(2)]

### ○ 説明文を読んで、概要を捉えることができるようにする

文章の概要を捉えるためには、まとまりのある文章を最初から最後まで読み、一語一語や一文一文の意味等、特定の部分にのみとられることなく、書き手が述べていることの大まかな内容を捉えることが大切である。説明文であれば、書き手が述べている具体や主張、理由、根拠等の大まかな内容を文章全体の構成に沿って読み取る力を養う必要がある。

学習指導に当たっては、以下のような言語活動に取り組むことが考えられる。

- ・短い説明や物語等の文章全体を読んだ上で、語と語の関連や代名詞、接続表現等を手掛かりに、代名詞の指す内容を矢印で結んだり接続詞に印を付けたりするなどして、段落内の情報や段落同士の関係、文章全体の構成を図示し、概要を捉える活動
- ・日常生活等に関する文章を読む際に、接続詞等に注目して「原因と結果」や「例示」等の文章の流れを整理したり、抽出したキーワードを繋ぎ合わせて、全体の内容を数文の英語でまとめたりする活動

その際、概要としてまとめた英文について、各段落の核となる情報が過不足なく含まれているか、特定の情報に偏っていないかといった視点で、生徒同士で確認し合う場面を設けることも有効である。

## 設問2 (1)

### 1 解説

#### 趣旨

社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

読むこと

- ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。

#### ■評価の観点

思考・判断・表現

## 解答類型

問題番号	解答類型	正答
2	(1) 1と解答しているもの	
	2と解答しているもの	
	3と解答しているもの	
	4と解答しているもの	◎
	上記以外の解答	
	無解答	

## 2 学習指導に当たって

### ○ 意見文を読んで、要点を捉えることができるようにする

意見文等の要点を捉えるためには、文章全体を通して読み、複数の情報の中から「書き手が最も伝えたいことは何か」を判断して捉える力を身に付けることが大切である。

学習指導に当たっては、以下のような言語活動に取り組むことが考えられる。

- ・環境問題等に関する説明文や意見文を読み、繰り返し用いられている語句や、読み手への問いかけを手掛かりにして、最も大切な語句や文を選んだり、段落内の文章の構成を把握したりする活動
- ・各段落の内容をワークシート等に整理した上で、書き手の最も伝えたい内容が書かれた英文を選択し、その主張に対して意見交換する活動

例えば、筆者の主張を捉えた後に、その内容を踏まえて「自分ができること」や「賛成・反対の立場」について、ペアやグループで即興的に尋ね合ったり伝え合ったりする活動を取り入れることも、内容の深い理解を図る上で有効である。

## 設問2 (2)

### 1 解説

#### 趣旨

社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

書くこと

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由等を、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

#### ■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
<p>2</p> <p>(2)</p>	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 書き手の意見に対する自分の考えを書いている。</p> <p>② ①の理由を書いている。</p> <hr/> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yes. We should help each other. We can become happy when we see other's smile.</li> <li>• I'm happy because my family and friends are always kind to me. I think we should be kind to each other.</li> </ul>	
	<p>条件①、②を満たし、正確な英語（語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの</p>	◎
	<p>条件①、②を満たし、おおむね理解できる英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの</p> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yes. We should help friends. <u>Because</u> I feel happy when my friends say "thank you" to me.</li> <li>• No, I'm not. I don't have many <u>friend</u>. We should make many <u>friend</u> to be happy.</li> </ul>	○
	<p>条件①、②を満たして解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項の誤りがあるもの</p>	
	<p>条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの</p>	
	<p>条件①に触れずに、与えられた話題について自分の考えのみを解答しているもの</p>	
	<p>条件①、②を満たさないで解答しているもの</p>	
	<p>上記以外の解答</p>	
<p>無解答</p>		

2 学習指導に当たって

○ 読んだことを基に自分の考えとその理由を書くことができるようにする

読んだことを基に自分の考えとその理由を書く際には、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解した内容を基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現することが重要である。

学習指導に当たっては、以下のような言語活動に取り組むことが考えられる。

- ・国際協力やエネルギー問題等の社会的な話題に関する英文を読み、新聞の投稿文やスピーチの形式で下書きを書くなどして、読んだ内容に対する自分の考えとその理由を表現する活動

- ・人権問題や社会貢献等の話題に関して読んだ内容を踏まえて、内容に対する感想や賛否をその理由とともに書く活動

なお、書いた英文を推敲する際には、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて適切な内容になっているか、正確に書くことができているかを指導する必要がある。また、内容や表現を改善していく上で、書いた英文に対して教師がフィードバックを与えたり、生徒同士でアドバイスし合ったりすることも大切である。

### 本設問を使った学習活動の例

#### 【生徒の課題意識を高めるとともに、学習の見通しをもつ】

Kenta is giving a presentation about happiness.  
How about you? When do you feel happy?

I feel happy when I play soccer!

When I am with my family.

Good! You feel happy now. But a newspaper says many Japanese people don't think they are happy. Why? Let's read Kenta's idea and write your own thoughts.

「自分たちは幸せだと思っている」のに「新聞では日本人は幸せだと思っていないと言われている」というずれを提示することで、「なぜだろう?」という疑問をもたせ、資料文への関心を高めます。

#### 【情報を整理し、要点を把握する】

ブータンと日本の事例の「違い」に注目する対話を通して、情報を整理しながら文章の構成を捉え、書き手が最も伝えたい要点を把握する。

Let's check the difference between Bhutan and Japan. How are they different?  
And what is Kenta's most important message? Talk in pairs.

In Bhutan, people are happy with their family and nature.

But in Japan, people often look at others and want better things.

Kenta says real happiness is different. He is happy when he helps someone.

Right. Look at the last part. He says, "Everyone has a chance to be happy."

I see. So his main message is "Everyone can be happy."  
We don't have to compare.

Good. You found his message from the difference.

【読み取った内容を基に、自分の考えと理由を表現する】

健太の主張を参考にしながら、友達との対話を通して自分自身の「幸せ」について考え、理由を添えて英語で表現する。



Kenta asked, "What should we do to be happy?" What is your idea? Please talk in pairs.

I feel happy when I'm with my family and friends.



Me, too. Why do you feel happy with them?

Because they are always kind to me.



That's nice. Kenta says helping others makes him happy. How about you?

Well... I want to be kind to others, too. It's important to be kind to each other.



I agree! Why don't you write about it?



OK, I'd like you to type what you talked about in pairs, then upload it to the class drive.



I'm happy because my family and friends are always kind to me. I think we should be kind to each other.

※対話の後に1人1台端末を使用して英文を提出。



Then, read your friends' ideas on the class drive. Did you find any useful expressions or interesting ideas? If you find some, please update your own ideas.

ICTを活用して互いの意見を共有する際、単なる「読み合い」で終わらず、「友達の表現や考えを取り入れて自分の英文をよりよくなる」時間を設けます。これにより、生徒が自分の書いたものを客観的に見直し、内容や表現を主体的に改善していく力を育てます。

設問3

1 解説

趣旨

日常的な話題について、事実や自分の考え等を整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

書くこと

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ち等を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
3	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして、解答している。</p> <p>① 自分の住む地域の紹介したい場所について書いている。</p> <p>② 紹介する内容を一貫性のある文章で書いている。</p> <p>③ 25語以上の英語で書いている。</p>	
	<p>(正答例)</p> <p>・ Toyama Castle Park is a good place to visit. It has a big castle and a nice Japanese garden. You can take a walk there. The cherry blossoms are beautiful in spring. Please visit it! [35 words]</p>	
	<p>条件①、②、③を満たし、正確な英語（語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの</p>	◎
	<p>条件①、②、③を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの</p> <p>(正答例)</p> <p>・ Toyama Castle Park is a good place. There is _ big castle. You can see many <u>flower</u> there. The cherry trees are <u>beautifull</u>. Please visit the park! [26 words]</p>	○
	<p>条件①、②、③を満たして解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの</p>	
	<p>条件①、②を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているが、条件③を満たさないもの（20語～24語の英語で書いているもの）</p>	
	<p>条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの</p>	
	<p>条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの</p>	
	<p>条件③を満たさないで解答しているもの</p>	
	<p>上記以外の解答</p>	
	<p>無解答</p>	

## 2 学習指導に当たって

### ○ テーマについて事実や考えを整理し、文章構成を判断して、文と文のつながり等に注意しながらまとまりのある文章を書くことができるようにする

テーマについてまとまりのある文章を書くためには、テーマについて事実や考えを整理し、どのように書けばよりよく読み手に伝わるのかを考えて書くことが重要である。その際、キーワードを整理して書くことや、5W1Hを意識しながら全体の構成を考えて書くこと、文と文のつながりを示す語句を効果的に用いながら書くことができるように指導することが大切である。

学習指導に当たっては、以下のような言語活動に取り組むことが考えられる。

- ・学校生活や家庭生活における出来事について、電子メールや手紙、日記、レポート、スピーチ原稿等の形式により、目的や状況を踏まえて、事実を伝えたり出来事を描写したりする文章を書く活動
- ・日常生活や生徒の体験について、手紙や電子メール、新聞の投稿欄等の形式により、自分の考えや気持ち等が伝わるように文章を書く活動

なお、小学校外国語では「自分のことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする」という「書くこと」の指導が行われていることを踏まえ、中学校においても基本的な語彙や表現に親しむ機会を、「聞くこと」「読むこと」及び「話すこと」の活動を通して多く与え、それらを「書くこと」へとつなげていくことが大切である。